

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	82,080円	助成金充当額	82,080円	
事業対象者	地区民	参加人数	150人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・防災士の養成 ・月1度の防災機材の点検活動 ・月1度の防災士会議の実施 ・防災訓練(台風のため中止) ・小学校連携、防災学習			
事業目標	・防災機器の点検活動への参加者をふやす。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	毎月3名以上の参加者をめざす	100%	80%	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・地域から災害がないので、危機意識の欠如のため参加が少ない。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・防災意識を高めるためには、子どもころからの意識の高揚が必要である。学校と係わりながらの事業が必要に感じる。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・災害に対し、もっと危機意識を持たせる必要がある。 ・月一度の防災機材の点検活動においては、自治会長の意識が薄く、参加率が悪い。 マンネリ化にならないような興味付けが必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

まちづくりサークル

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	100,000円		助成金充当額	100,000円
事業対象者	地区民		参加人数	222人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・毎月、基本的に第一水曜日と第三水曜日に健幸ストレッチ教室を講師を招いて行う。 ・毎月、第三水曜日に支援チームの保健師による「かみはら健康相談」の実施。			
事業目標	・健幸ストレッチ教室の参加者20人を目標とする。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	年間480人の参加	80%の384人の参加	46%の222人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍により4月5月が中止となり、また出だしも悪く心配されたが、後半は14、15人と安定してきた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・健康を意識される方も増え、参加者も安定してきた。健康な体を維持していくためには、続けて活動していくことが大切である。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・健康づくりには関心の高い人が多く見られるようになってきているので、この事業は継続的に行う事が必要であり、広報活動を活発にして実施してみることも必要に感じている。コロナ禍により予定が大幅に狂ってしまったが、地道に活動していくことが必要である。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 神原小学校学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	2020. 4. 1~2021. 3. 31			
決算額	35,000円		助成金充当額	35,000円
事業対象者			参加人数	
事業内容	神原小学校及び神原中学校区合同学校運営協議会 神原小学校防災・学習訓練、避難場所・経路の探検 通学路や避難経路・避難所の安全点検 安全マップ作成 危険予測学習資料の作成 等			
事業目標	神原小学校地域連携教育の推進			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染症対策のため、実施できたものできなかったものがあるが、神原地区の各団体及び関係機関が連携しながら、神原小学校の学習や行事に参加することで、学校の地域連携教育の推進に寄与できた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 学校・家庭・地域が連携した「登下校の見守り活動」、「通学路の安全点検」、「通学路の安全マップの作成」、神原地区子ども委員会主催の神原チャレンジクラブ、ふるさと運動部会主催のおもしろ遊びと工作教室など、児童の安心・安全な生活や地域に軸足を置いた諸活動を支援することができた。防災学習・訓練では、神原地区自主防災会や関係機関が連携して実施し、児童の防災意識の向上を促すことができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 小中学校連携事業(地域連携教育)については、これまでさまざまな活動を行ってきた。本年度は現在行っている取組について学校運営協議会で検証する予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策の為に振り返りの機会を十分もつことができなかった。次年度は感染症の動向を見ながら、さらなる活動の推進を図りたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	①	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	①	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	①	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 神原中学校学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	2020. 4. 1~2021. 3. 31			
決算額	20,000円		助成金充当額	20,000円
事業対象者			参加人数	
事業内容	<p>①「学校運営協議会の開催」 ・年間5回(うち2回は小学校と合同)の会議を予定していたが、コロナ禍のため年度当初2回の会議が実施できなかった。学校の現状分析や学校評価の検討・評価等を行った。</p> <p>②「地域とつながる活動」 ・中学生が地域の情報を入手することができるように地域の情報コーナーを校内に設置した。</p> <p>③「クリーンアップ」 ・中学生と教職員が地域で清掃活動を行った。今年は、小学生も参加して取り組んだ。</p> <p>④「神原・見初美術館」 ・コロナ禍のため、休校もあり生徒の作品に費やす時間が少なく、地域の公民館活動等による作品展示は行わなかった。</p> <p>⑤「花いっぱい運動」 ・「花いっぱい運動」は実施できませんでしたが、本校でボランティアを募り、神原ふれ</p>			
事業目標	神原中校区でめざす子ども像「思いやりの心をもつ人」「考えて行動する人」「地域に貢献する人」の具現化を図る。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	神原中学校評価アンケートにおいて「地域と関わりをもてた」とする生徒を70%以上。	学校運営協議会に生徒会執行部役員を参加させる。 神原夏祭りに中学生が運営するブースを出店させる。	神原中学校評価アンケートにおいて「地域と関わりをもてた」とする生徒を58.2%。	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍において、学校運営協議会で、コミュニティ・スクールの意義である「学校運営」「学校支援」「地域貢献」を十分地域に説明することができなかった。また、行事の中止や会合等が行えなかったせいもあり、生徒の地域貢献の場がたくさん削られる結果となり、「地域との関わりをもてた」とする生徒が目標値に達しなかった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 少ない行事の中、生徒が地域の活動に積極的に関わることで、自己有用感をもつことができた。 地域も生徒に関わることで地域の教育力の向上を図ることができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) 山口県教育委員会が掲げる「地域教育力日本一」の実現に向けて、コミュニティ・スクールのさらなる推進・充実を図る必要がある。学校運営協議会を中心に熟議を重ね、「学校運営」「学校支援」「地域貢献」の3つの機能を進化させていく。			
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	①	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区コミュニティ推進協議会

事業名	4	コミュニティ行事運営事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月				
決算額	1,342,400 円		助成金充当額	275,000 円	
事業対象者	地区民		参加人数	1,000人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・春・秋のさわやかウォーキングの開催(春のさわやかウォーキングは中止) ・神原地区民運動会の開催(コロナ対策で中止) ・夏まつりの開催(コロナ対策で中止) ・文化祭の開催 ・神原ひなまつりの開催				
事業目標	・担当者が変わっても、回る地域行事・イベントとなるようそれぞれのシステムの見直しを図る。				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	・行事・イベントの後の反省会を100%実施。	100%	100%実施した。		
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・今年度はコロナ禍のため、中止をしなければならない行事が多くてた。新しい生活様式にのっとり、どうすれば実施できるのか、一からの見直しを図り、そのため反省会だけでなく、多くの会議を持ち話し合うことができた。コミュニティの見直しのいいきっかけとなった。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・事業を行わないと、地域コミュニティは滅びてしまう。多くの人と相談しながら進めていくことが回るコミュニティの原点となる。みんなで参加・協力をしながら作り上げていくことが大切で有り、時間はかかるが絶対的に必要なことである。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区社会福祉協議会

事業名	5	敬老事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	924,167円	助成金充当額	287,920円	
事業対象者	地区内高齢者及び独居高齢者	参加人数	1,077人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・独居老人ふれあい昼食会(年2回) ・敬老記念品の贈呈の助成			
事業目標	・閉じこもりを無くし、コミュニティの場を提供し、元気で活動できる高齢者を支援する。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	ふれあい昼食会の参加者を100人以上をめざす。	100%	100%	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・2回のふれあい昼食会では密をさけるため、1回を2つのグループに分け、2回を4回にして実施した。その効果で参加は多くあり、目的の数値には達した。まだまだ閉じこもりの高齢者が多く、参加の呼びかけの強化が必要。また、男性高齢者の参加が少ない。			
事業効果	・コロナ禍の心配はあるが、やはり外にでたい思いも強い。何とか引きこもりにならないよう、工夫をし、実施することにより多くを満足させることができた。どうすれば実施できるかを考えることが成功につながる道しるべとなる。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・各自治会においては高齢者数も増えており、閉じこもりにさせないためにも色々な仕掛けをし、外にださせる楽しみをつくっていかねばならないと感じている。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区コミュニティ推進協議会

事業名	6	広報事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	720,000 円	助成金充当額	450,400 円	
事業対象者	各団体関係者	参加人数	114人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・神原だよりの編集 ・月一度の編集会議 ・各コミュニティ団体による行事・イベントの広報活動 ・デジタル化委員会の開催			
事業目標	・各団体による行事・イベントの創意工夫した広報活動により、参加者の増員を図る。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・総行事・イベントの参加者を2,500人以上をめざす。	2,500人	1,000人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・今年度はコロナ禍により、中止としなければならない行事が多くあり、目標達成とはいかなかった。その分対策会議やこれからの取組等、多くの話し合う会議を持つことができた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・目標達成にはならなかったが、おかげで会議を多く持つことができ、多くの見直しや、これからの事業の在り方等、プラスにすることができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・今年度よりデジタル化を図っており、HPやSNSを使った伝達方法を使い、紙媒体と共有しながら、若者から高齢者まで活動が伝達できるよう工夫していきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

神原地区コミュニティ推進協議会

事業名	7	コミュニティ菜園事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	184,915円		助成金充当額	50,000円
事業対象者	地区民		参加人数	延べ200人以上
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・畑を活用した行事 ・玉葱・サツマイモの栽培を行い行事に活用 ・栽培した物の販売 ・畑の貸し出し			
事業目標	・多くの神原地区民に活用してもらえる菜園づくり			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	畑の貸し出し20件以上をめざす	20件	18件	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コミュニティ菜園の存在を知ることにより、畑の使用者も増えてきた。目標の数字に近い貸出率となった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・今年度よりトラクターも借りられるようになり、草の処理も容易になった。しかし、トラクターの整備に費用がかかり、コミュニティより援助を受けた。しかし、より菜園らしくなり、街中の菜園として大いに賑わいを見せられるよう活動していきたい。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・しっかり広報活動を取り入れ、賑わいのある菜園活動ができるよう、参加者をもっと増やしていきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

子ども会育成連絡協議会
ふるさと運動部会
母子保健推進員会

事業名	8	子ども育成事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	322,000円		助成金充当額	192,000円
事業対象者	地区民		参加人数	延べ700人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・子ども会行事の運営 ・竹細工や昔の遊び講座の開催 ・中学校での「子育て広場」の開催 ・ちびっ子サークルの開催			
事業目標	・ちびっ子サークルへの参加者をふやす。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	毎回5組以上の参加者をめざす	100%	80%	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・クリスマス会などの時は多くの参加者があるが、普段の会の時はやや少なめになる。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・子育ての時期は、共通の悩みとか、同じ世代同士の子どもたちの接する場を設けることにより、ひとりで子育てする意識の改革となる。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・少子高齢化の時代、子育ての課題意識を持つことが大切で有り、様々な工夫を凝らし、参加者の増員を図りたい。子ども会や小学生の参加は小学校の協力も有り、ある程度こなされているのではないかと思う。何かと忙しい世代の親にどう関わり地域を盛り上げていくか大きな課題でもある。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

ふれあい運動推進委員会
交通安全推進委員会
防犯連絡所指導員協議会

事業名	9	安心・安全事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月				
決算額	168,000 円		助成金充当額	115,000 円	
事業対象者	地区民		参加人数	延べ350人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・宇部市ふれあい運動に準じた活動。 ・月2回のパトロール活動。 ・青パトでの防犯活動。 ・朝の交通指導、見守り活動。 ・交通安全活動。				
事業目標	子どもの事件・事故0の街をめざす。				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	子どもの事件・事故0	事件・事故0	達成		
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・毎日の地道な活動により目標達成となった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・毎日、毎回の地道な活動が実を結んでいる。安心・安全な街づくりのために頑張っていきたい。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・安心・安全な街づくりは毎日の地道な活動が大切で有り、一番大切な課題で有り、引き続き目標をめざし活動していきたい。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3